

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和

2023年2月24日

事業所名:

学童クラブそよ風2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	2		法令としてのスペースは適切であるがより良い環境を目指して今年度改築し部屋数を増やしている
	2	職員の配置数は適切であるか	9	3		利用者の特性に合わせた人員を配置しています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化やの配慮が適切になされているか	12			バリアフリーを考慮していますが、車椅子で一人で自由に移動するには難しい場所もあるので、スタッフ支援でカバーしています
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	2		職員会議などで療育活動の進行の打ち合わせや結果を共有し、継続して行うべき事や改善点を話し合っています。
業務改善	5	保護者等向け評価表によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	1		把握したことをスタッフ間で共有し、取り組める事を検討しながら業務改善を目指しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12			公開させていただいています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	6		外部評価について検討を行っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12			今年度は保護者と勉強会を行ったり外部研修の参加も出ています。さらに機会を増やしていきたいと思えます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12			面談で保護者とアセスメントを行い、職員会議で話し合っています。
適切か	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12			アセスメントシートを作成しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			職員会議で情報を出し合い共有して作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12			工夫していますが今年もコロナで中止したプログラムもあり、変化を取り入れる事が難しかった時期がありました。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12			さらに、きめ細やかな支援を行っていききたいと思います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1		状況や取り組む課題により、個別・小集団活動の計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			打ち合わせは全員ではないが、支援内容や役割分担について記入するミーティングノートがあり支援前に職員全員が確認出来るようにしています。

支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1	終了時間が違うにでその日の話しや合いは難しいが良かった点や悪かった点など各自ミーティングノートに記録して共有し振り返りをしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12		日々の支援は記録しています。気になる点など職員会議で話し合い、次に反映しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1	職員会議等でモニタリングしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10	2	利用児童の組み合わせに応じて組み合わせ、支援しています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12		送迎時などに、情報共有や連絡調整を行い、連携しながら支援を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	12		現在、対象児童がいない状態です。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互協力に努めているか	12		面談をして全員の引継ぎを行い、連携しながら支援を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	12		見学や面談等必要があれば行い、保護者様同意の下、必要に応じ記録情報を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12		児童支援センター・おひさま園・なのはな園との関係をさらに強固なものとしていきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	8	活動交流は行えていません。今後の課題としていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	4	1	管理者が自立支援協議会子ども部会の会員です。積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			さらに保護者との共有理解を持ってあたりたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	2		面談や保護者会などで支援について話し合いをしています。プログラム化は課題であります。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			

保護者との連携	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			面談や送迎時に保護者の困りや不安に耳を傾け支援しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	3		勉強会を開催しました。コロナが落ち着いたら保護者会の回数を増やすなど希望に沿った支援をしていきたいと思っています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつきせつ適切に対応しているか	12			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		おたよりや、ホームページ等で活動を報告させていただいています。
	35	個人情報に十分注意しているか	12			個人情報の取り扱いを常に注意喚起していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			
保護者への説明責任等	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	6	地域住民を招待する等の行事がありません。今後の課題としていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12			避難訓練を年2回行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12			認識を高めるために研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12			個別面談で説明と同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	12			現在対象児童はいませんが対応については職員会議などで話し合っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			共有しています。さらに様々な事例について話し合いたいと思います。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。